

令和7年度第2回長崎市公民館運営審議会の審議結果について

- 1 日 時 令和8年2月13日（金）10時00分から11時50分
- 2 場 所 市役所11階 中会議室
- 3 出席者 委員 9人中7人出席
事務局 公民館長 11名出席、
生涯学習企画課長、同課地域学習係長、同課職員2人
- 4 議事内容

(1) 公民館実践報告

ア 外海公民館 「外海の良さを伝えたい、外海に元気届けたい」

田舎の小さな公民館

イ 琴海文化センター「人が集まる魅力的な公民館講座」

(2) 公民館より諮問事項

自治体や文化団体で中高生の体験学習や課外クラブ等との連携などについて

(3) その他

5 主なご意見・質疑等

(1) 実践報告

ア 外海公民館

(ア) 炭鉱体験の参加者は外海の方が多いのか、それとも外海以外の方が多いのか。

また年齢層はどうか。

→外海以外の方がほとんど。平日開催のため、65歳以上の方が大多数である。

他の講座についても外海以外の方の参加が多い傾向である。

(イ) 炭鉱体験は、親としては子どもにも体験をさせたいが土日開催はできないか。

→公民館を離れる事業であるため体制的に土日開催は難しい。

(ウ) 外海の良さを伝える多くの講座はとても魅力的で地域が持つ宝物だと思う。
ぜひ地域内の方ももっと呼び込んで学んでもらい、改めて地域の良さを理解して
いただくことが大切だと思う。

(エ) 受付方法に2次元コードを使うなど工夫を取り入れられていることは素晴らしい。
また、過去の参加者への案内送付など、細やかに取り組まれ、効果が出て
いると思う。

(オ) 人口が減少している状況の中で、地域外の方とも触れ合う機会があり、地域
の方が自分たちの地域の良さを改めて再認識、再発見する。交流を通じて他の地
域にも行ってみようかとなるなど、公民館の相互交流で、公民館活動も活発にな
るのではないだろうか。

イ 琴海文化センター

(ア) 尺八の指導をしているが、なかなか公民館への働きかけができていない。子
どもたちに教えたりできるので、自分も講師として協力したいと思っている。

(イ) 講師の発掘はマッチングなどなかなか難しい。地域を超えた人材発掘という
こともいいことではないか。

(ウ) 説明の中で「男性も参加しやすい」や「男性向き」といったワードが出てい
たが、ジェンダーの観点から考えたときに、そこに捉われないというところを軸
に置くといいのではないか。

→男性の参加が極端に低いため、男性の健康に関するリスクが高い現状改善を意
識して参加を増やしたいとの思いからの男性限定の講座も設定している。多くの
講座では捉われないように取り組んでいる。

(エ) ホールがあるという館の特性を活かし開催されている映画鑑賞会について、
公民館等で開催できる「利用範囲表示シール」を確認しながら選定していること
を聞いてなるほどと思った。ただ、内容が少し古いと感じるものがあり、子ども

たちが見たいと思うような内容のものが増えたらなと思うこともある。選定についてそのあたりは難しいのか。

→今はネット配信が主になっているため、新しいDVDが買えない状況になっている。また、著作権などから、利用可能なものと見たい映画が必ずしも合致しない面がある。

今後ネット配信が公的機関でも使えるようになると、そのあたりが解消できるのではないかと考えている。

(オ) 教育目的で公民館での上映を認めている定額配信サービスのコンテンツなどがある。ドキュメンタリー作品などが多く、字幕がついているものは子どもには難しい部分もあるが、アイデアとしては面白いと思う。

(2) 公民館より諮問事項

(中央公民館) 小学校高学年、中学校、そして大学生の皆さんにいかに公民館に足を運んでもらい、またいろいろな活動をしていただきたいと考えているが、なかなか利用される機会がない。そのような世代との連携や体験活動ができないかと考えている。何かいいアイデアなどがあったら参考にしたい。

ア 県立大学の場合、長与町と連携してITの講座などを設け、学生を含めて若い人たちも参加できる機会をつくっている。

イ 長崎大学では、ボランティアという形で学生が子どもたちの面倒を見ている実績があることから、例えば公民館に勉強をするスペースを設けて、そこに大学生が入ってくるといった形をとれるといいのではないかと考えている。また、近年教員採用試験の倍率が低くなっていることから、このような活動を通して教員を目指す子どもを育てていくことに繋がればいいのではないかと考えている。

ウ 部活動の地域移行が今後さらに進んでいくことが考えられることから、特に文化

系のクラブ活動を公民館で行えるようにするといいいのではないか。

(3) その他

ア 公民館が子どもたちの公共施設デビューの場だと言っていたことがとても印象に残っている。マナーなどを学ぶ第一歩になるのかなと感じた。子どもたちが地域からも育ててもらっているという点では、公民館はとても大事な場所であり、子どもたちにも知らせていきたい。

イ 公民館について改めて、全ての子どもたち、大人たちに対しても、必要な場所であると感じた。公民館側からどんどん発信していただくことで、新たな気づきも出てくるのではないかと思っている。

ウ 長崎は非常にポテンシャルがあり、実際にこれだけ多くの公民館が活動していて、それが地域を支えていることも実感させていただいた。改革の中にあって、人々が楽しみながら、身近なところでいろいろな知識を得る、いろいろな活動に関わるということが重要だと思う。その中心に公民館もある。皆さんの活躍に期待したい。